

小中の連携をはかり、
同じ地域に生活する児童・生徒に対する
系統的な教育の在り方を考える

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月3日(火) PM1:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 旧田中銀行と大善寺見学コース

- ・田中銀行の見学と勝沼宿についての講話
- ・大善寺の見学と講話

イ 葡萄工房ワイングラス館とワイナリー見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・丸藤ぶどう酒見学

ウ 勝沼ぶどう郷駅周辺見学コース

- ・大日影トンネル遊歩道 ワインカーブ見学

エ 釈迦堂遺跡博物館とワイナリー見学

- ・釈迦堂遺跡博物館見学
- ・錦城葡萄酒見学

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月17日(水) 2:05～

(2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及び懇談をとおして小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 小学校の授業参観

授業提供 勝沼小学校 全学年

第1学年 算数科「ひきざん」 阪本寿美子教諭

- 第2学年 国語科「見たこと、かんじたこと」新海小緒里教諭
 第3学年 算数科「大きい数のわり算」堀井勝彦教諭
 第4学年 算数科「およその数で表そう」奥石晴美教諭
 第5学年 道徳「白い腹」古屋宏記教諭
 第6学年 音楽科「重なり合う音の美しさを味わおう」

小川洋子教諭

- 分科会 「小学校低学年・中学校部会」
 「小学校中学年・中学校部会」
 「小学校高学年・中学校部会」の3分科会。

○小学校児童の生活・学習の様子について

- ・授業を参観しての感想，質問や意見
- ・小学校の指導，中学校の指導

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月12日(水) PM3:00～

(2) 目的 小中に関わる今日的な問題についての講演会を実施し，研究を深める。

(3) 内容 講演会「限りなく広がる宇宙と人工衛星」

講師 宮川 広氏(三菱電機株式会社鎌倉製作所宇宙部門所属)

III 成果と課題

1 成果

- ・夏の臨地研修は，継続して取り組まれているため，年々地域の文化財などを学ぶことができ，地域に目を開くことができた。
- ・地区にある歴史的な物や産業などについて，実際にその場に行ったり，働いている人の話を聞くことにより，より詳しく勉強することができた。
- ・校種の異なる学校で，授業を見合うことは，いつもと違う視点で教育方法等を考えるきっかけとなり，有効的だった。
- ・小中学校間で情報を共有できた。(卒業生の様子など知れて良かった)
- ・1月の講演会はふだん聞くことのできない「宇宙」の話で，大変興味深かった。教師側の理科などの指導の参考ともなったり，講師の方にゲストティーチャーとして学校に来ていただきたいと思った。

2 課題

- ・ブロック授業研後の情報交換の持ち方に，何か工夫ができたらと思う。(もう少しテーマを絞り込むなどして)
- ・臨地研修については，勝沼地区に5～6年勤務していると，一回りしてしまうので，各校で臨地研修の場所などについて，一考も必要か。

(ブロック長 古屋宏記)